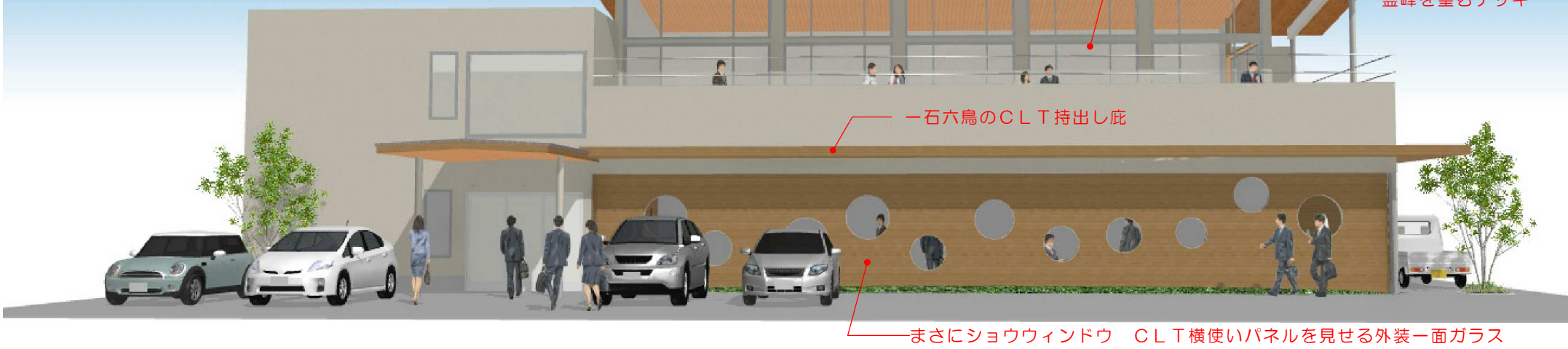


CLTをフル活用したこれからの事務施設

～霊峰へ向かって開けたCLTの大屋根が来訪者を温かく迎え入れる～

無機質な工業団地内において、人を惹きつけ温かみのある木造の事務施設の建設が、木材及びCLTの魅力伝え、これからの建築物への木材及びCLTの利用促進につながり、愛媛の森林・環境を守る一助になることを期待して.....ご提案いたします。



■設計コンセプト#

CLTの魅力・可能性・試み シンプル&ダイナミック CLTパネル構法・横使い 合板やRCとの差別化 遠く霊峰を望む好立地 歩留まり 汎用性・プロトタイプ 動線・働き易さ にぎわい

設計条件：ユニバーサル・デザイン、耐震性、省エネ、耐久性



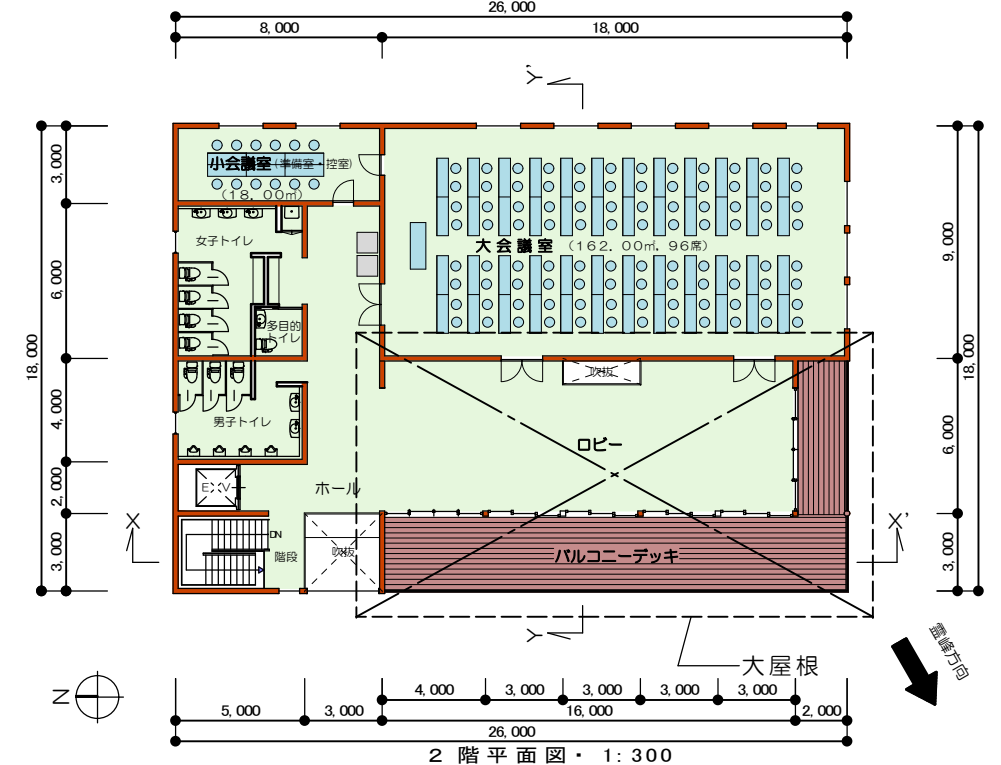
配置及び1階平面図・1:300

全体ゾーニング

メーターモジュールでかつ、できるだけ3Mスパンのシンプルな構成とすることで歩留まりのよい平面計画とする。
南前面道路からのアプローチとし、交通量は多くないことを前提に直接の並列駐車とすることで敷地を最大限に利用する。
工場側からの出入口も設け、通り抜けられるようにする。
建蔽率を最大限に使用して2階建てに収めることで、建物単位面積重量や共用部面積、外壁面積、法的規制等の制約を抑え建設コストダウンを図る。
南側には空地を設け工事期間中の構内通路への支障のないようにし、完成後は利用者の一時駐車スペースとする。
日常的に使用される1階と一時的に利用される2階を階で分けることで管理をしやすいとする。
1、2階の壁の位置を揃え軸力もCLTパネルで受けるCLTパネル構法とする。

1階ゾーニング

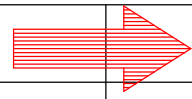
- 事務室
ファサードとなる南西の位置に計画したが、庇を設けることで日射に配慮した。「営業部門」と「生産管理部門」を分けることも可能なよう出入口を3ヶ所設けた。
構造としてのCLTパネルを壁・天井に現して利用している。
- 貸事務所
管理上出入口は建物内部から計画しているが、要望によっては東側通路より出入口を設けることができる位置とした。
- 応接室
事務室に隣接し奥へ「お通し」する南面の位置とした。
貸事務所企業の利用も想定し独立させた。
- 湯沸し室
お客様を「お通し」する際、目につかなす応接室に隣接した位置に計画した。
- トイレ
各出入口から遠くなり過ぎない位置とした。
必要に応じ扉をつけることも可能だが、扉を開けても通路から内部が見えない蛇行式とした。
やや不足が予測される男子トイレ側に多目的トイレの出入口を設けた。
- 階段・エレベータ
エントランスホールから近い位置とした。
- 倉庫
東側工場建屋への出入口に近い位置に、使い勝手のよい長方形のスペースを設けた。



2階ゾーニング

- 大会議室
西日が入らない南東の位置に無柱が可能な間口9mの長方形の空間とし、出入口を3ヶ所設けた。
- 小会議室
大会議室と隣接させ、大会議室利用時には、講師控室準備室として利用できるように配置した。
- ロビー
約100名の外部利用者が会議の休憩をゆったりとれるよう窓の外には霊峰が眺められる位置に広く天井の高い開放感のあるスペースとした。
また展示や懇親会など催し物の利用もできる。
西面になるので、大屋根で日射の軽減を図っている。
- バルコニーデッキ
ロビーと一体として利用できるよう壁量は他通りでとり、壁のない大開口でつなげている。基準法上階段は一つでよいが、もしもの際は避難待機場所としての利用も想定している。さらにはCLTの庇を使い地上へ避難することも想定している。
- 吹抜け
視界の広がりや下階への採光のためのみならず、CLTパネル構法の断面が完成後も見られるように設けた。
- トイレ
1階同様通路からの視線に考慮し、やや不足が予測される女子トイレ側に多目的トイレの出入口を設けた。一般の人の利用を考慮し、女子トイレにはロッカースペース、ベンチスペースを設けた。

三手先一方向



三手先2 方向



軒裏(見上げ) 繋がる、裏(上) 補強

